



2019年6月期

第2四半期 決算説明資料

株式会社ウイルプラスホールディングス(東証第一部 : 3538)

成長戦略

今期の取り組み

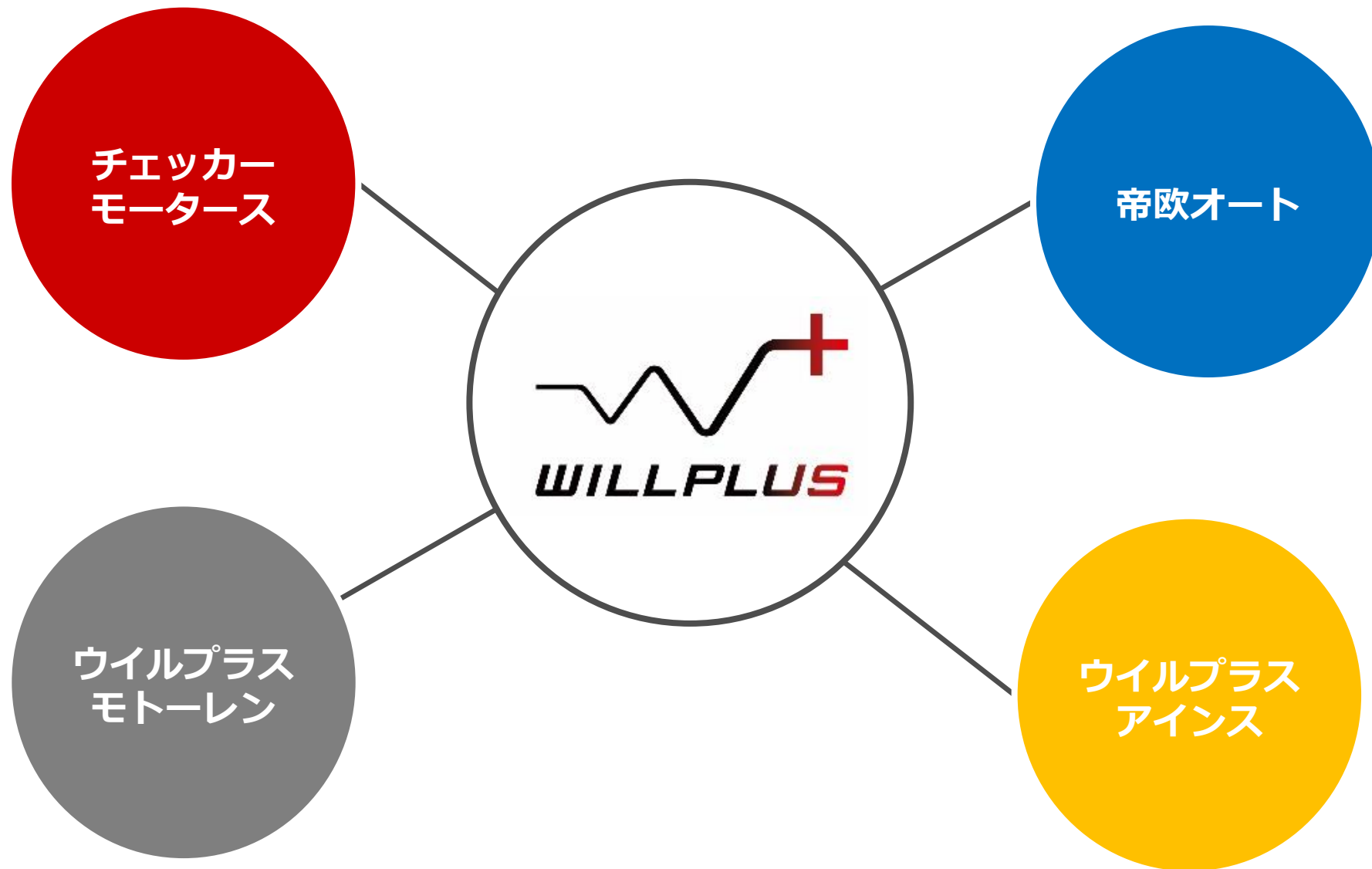
連結業績

通期連結業績予想

株主還元

APPENDIX

成長戦略



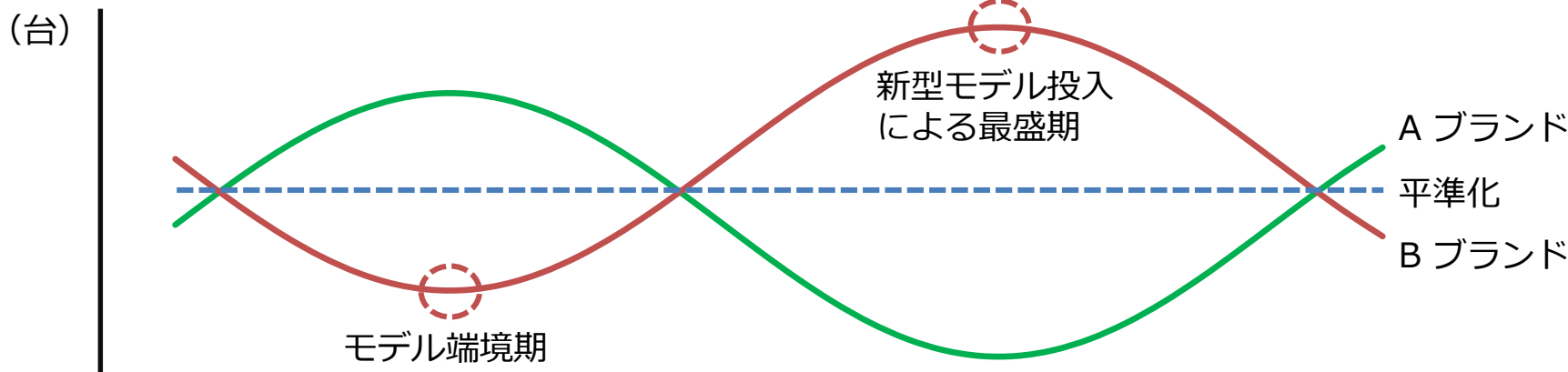
マルチブランド戦略

ドミナント戦略

M&A戦略

計10ブランドを扱うことにより、ブランド間の新型モデル投入時期の差異による販売サイクルへの影響を平準化

新型モデル発売時期による平準化イメージ



2017年新型モデル



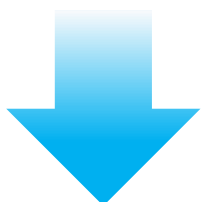
2018年新型モデル



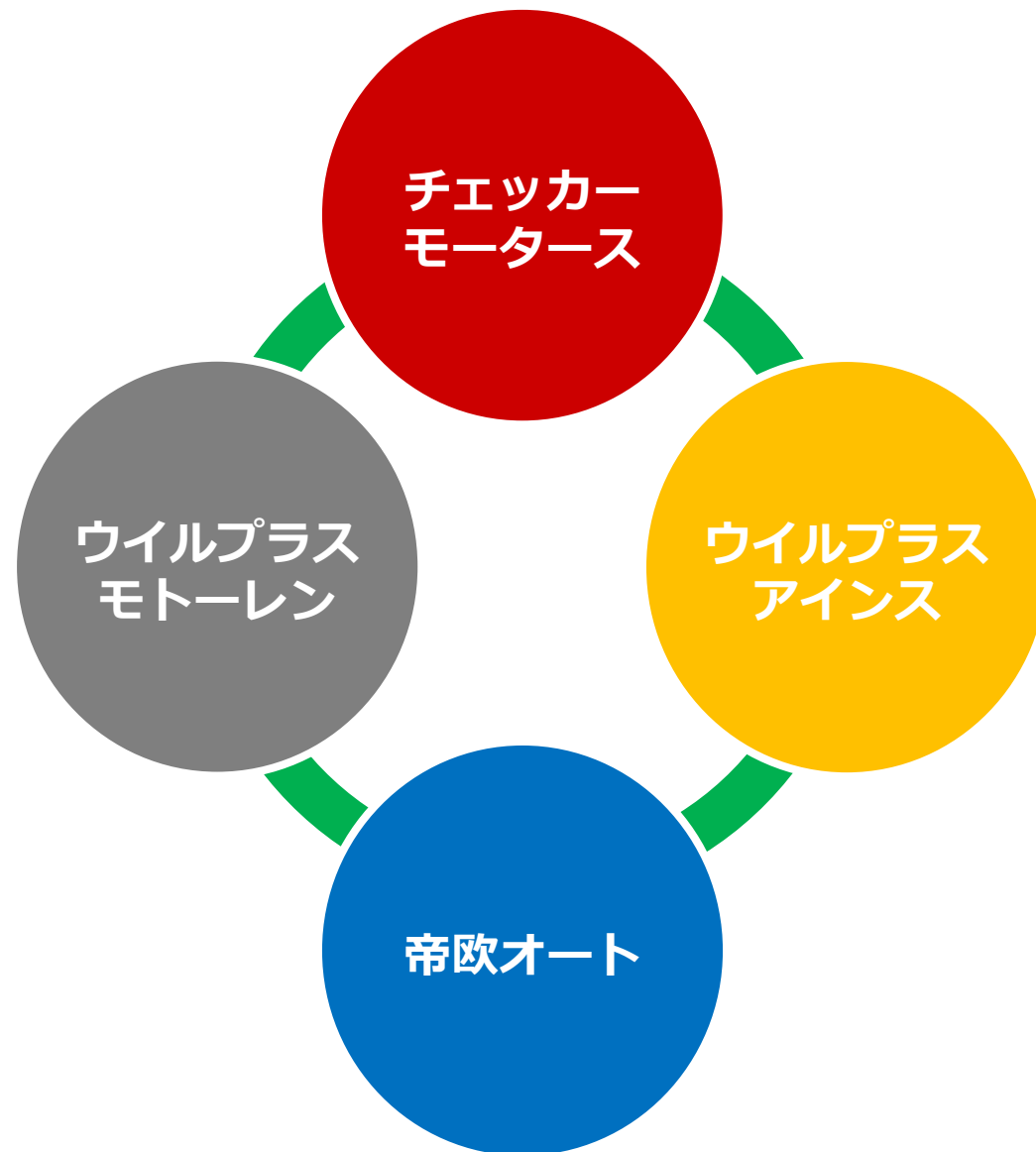
グループ内での人材の流動化



面でのお客様へのフォロー



利益の最大化



1

新たなエリアへの進出

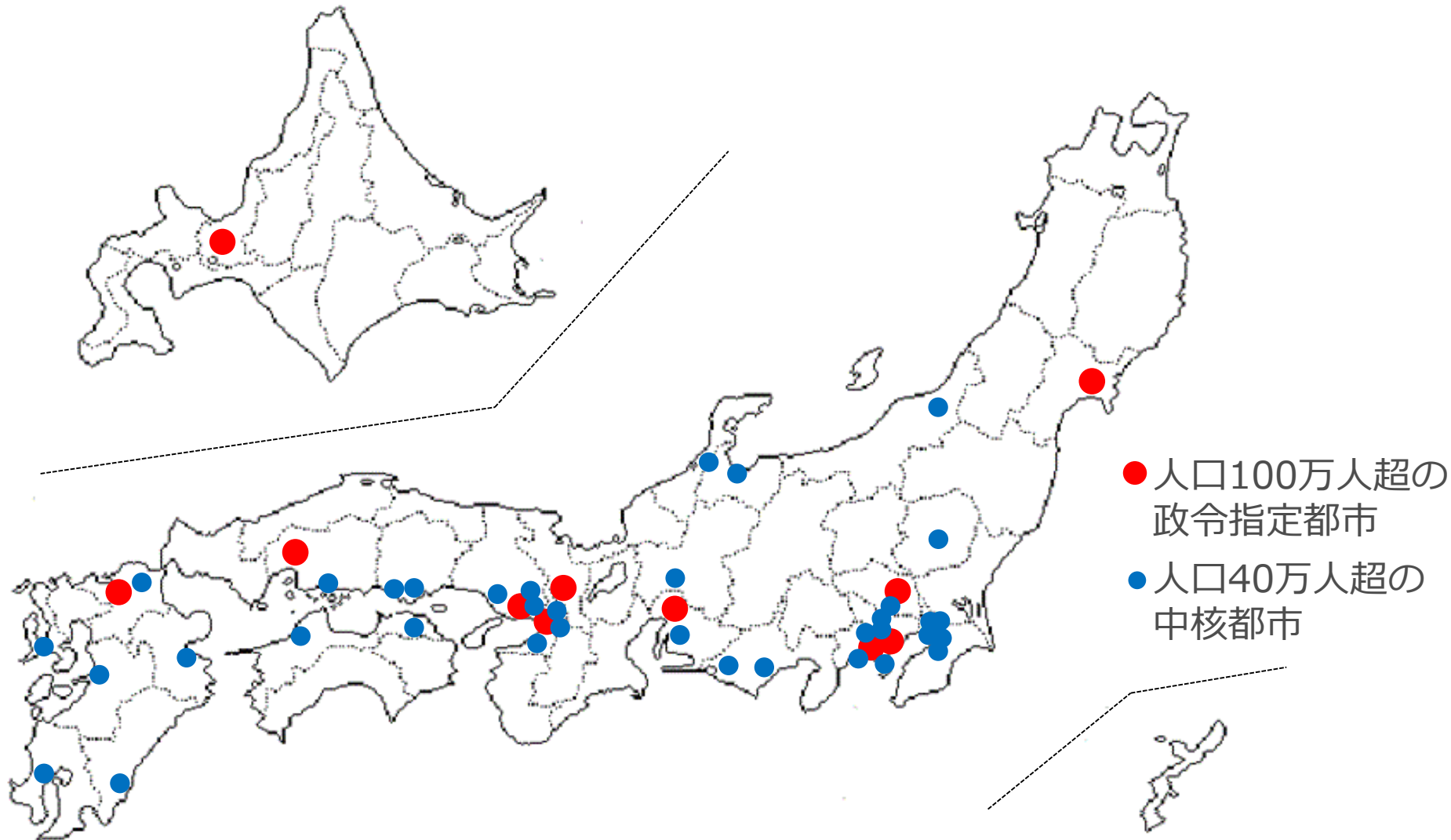
2

**新たなブランドの獲得
(マルチブランド戦略)**

3

既存ブランドのシェア拡大

進出候補エリア



未取扱いブランド

Mercedens-Benz

VW



Audi



Peugeot+Citroen

Jeep

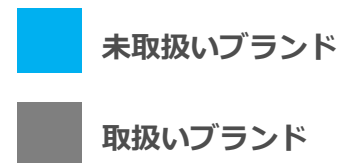


Renault



PORSCHE
smart

Maserati

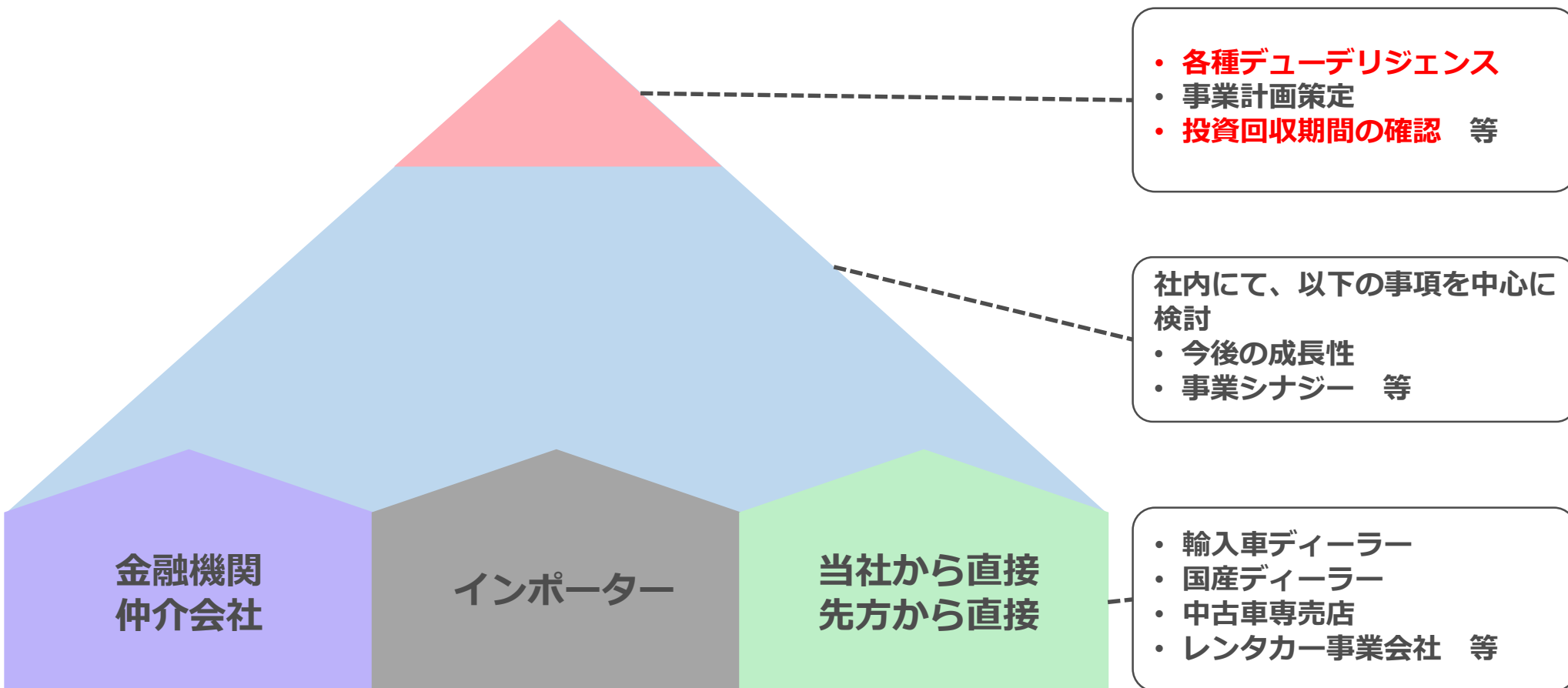


M&Aによるターゲットブランド

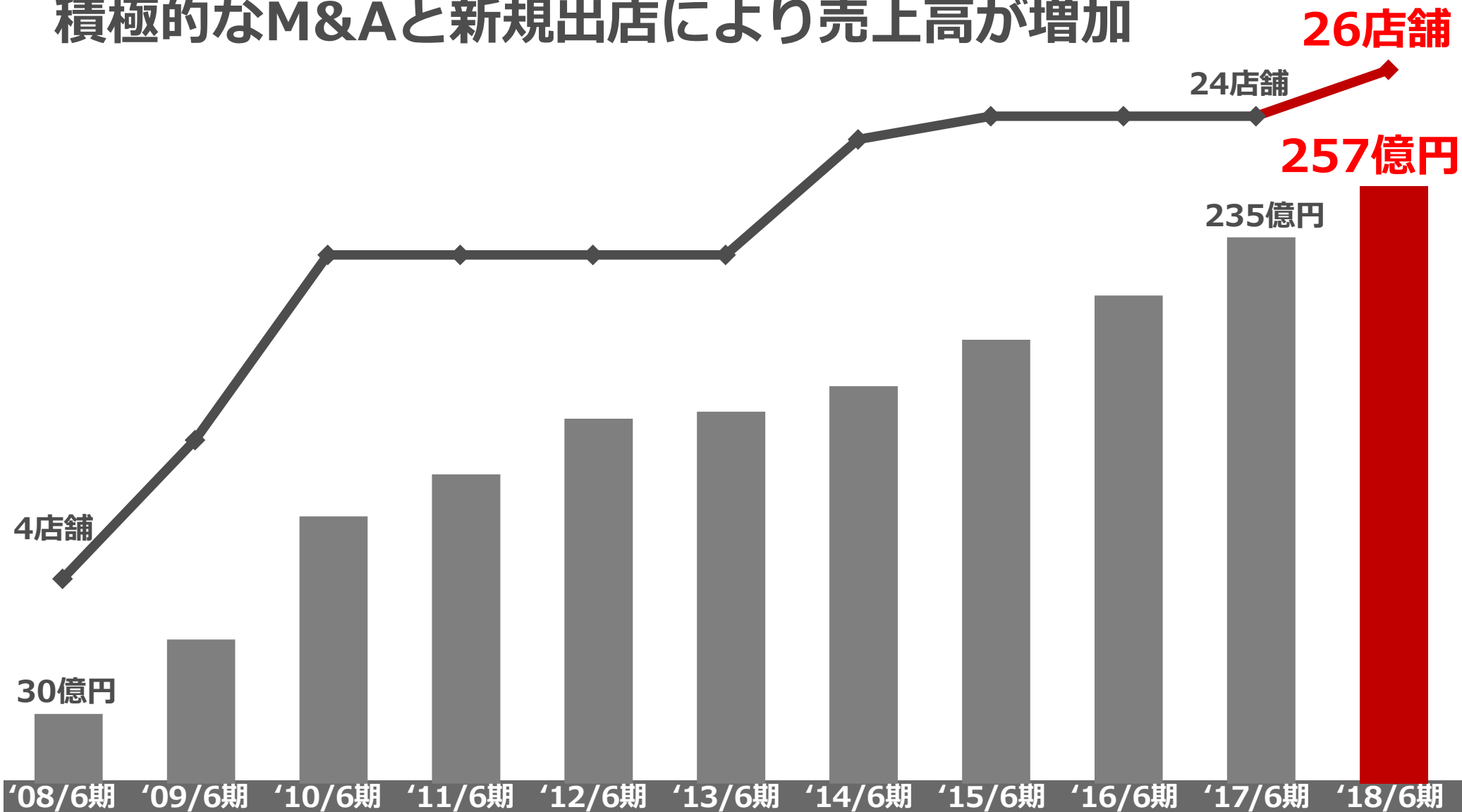
9以上

M&A案件の発生・成立

- 金融機関等の紹介、インポーター、オーナー持ちこみ等により発生
- 当社の投資開始基準に沿った案件のみデューデリジェンスを実施し、交渉を経て成立



積極的なM&Aと新規出店により売上高が増加



今期の取り組み

2018年11月23日付にて「JEEP目黒」新規オープン

■既存ブランドによるドミナント戦略の推進



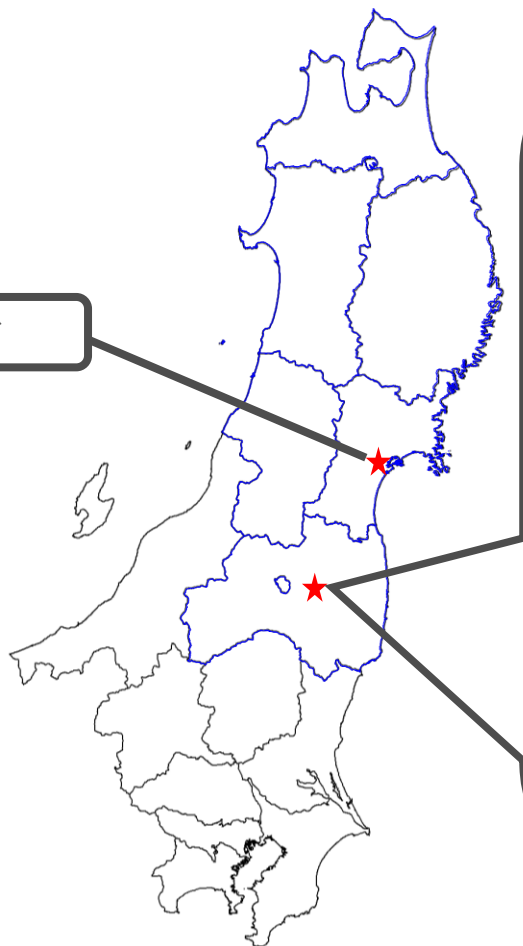
2018年12月1日付にて「ポルシェセンター仙台」事業譲受

- **東北エリア初進出**
- **新規ブランド**によるマルチブランド戦略の推進



2019年1月12日付にて「ポルシェセンター郡山」新規オープン
2店舗にてポルシェブランドの**東北エリア**における**全商圏をカバー**

ポルシェ仙台



ポルシェセンター郡山 完成予想図

2019年1月5日付にて「JEEP北九州」リニューアルオープン 最新のCIに準拠



2019年1月12日付にて「フィアット／アバルト田園調布」 リニューアルオープン 最新のCIに準拠



2019年1月12日付にて「ボルボ・カー久留米」 移転オープン 最新のCIに準拠



2019年1月26日付にて「ボルボ・カー北九州」移転オープン 最新のCIに準拠



2019年3月1日付にて「MINI 山口（仮店舗）」新規オープン予定 ■中国エリア初進出



2019年3月1日付にて「MINI NEXT周南」新規オープン予定 ■山口県におけるMINIブランドの全商圏をカバー



2019年4月1日付にて「ジャガー・ランドローバー三鷹」
事業譲受予定



グループ³1店舗体制へ

既存店舗への投資

CI変更

- 最新のCIに準拠し、ブランド毎の様々なリテール体験を提供
- 最新の設備等による高品質なサービスを提供

移転オープン

- 視認性、利便性に長けた好立地に移転
- 経営効率の向上

新規オープン

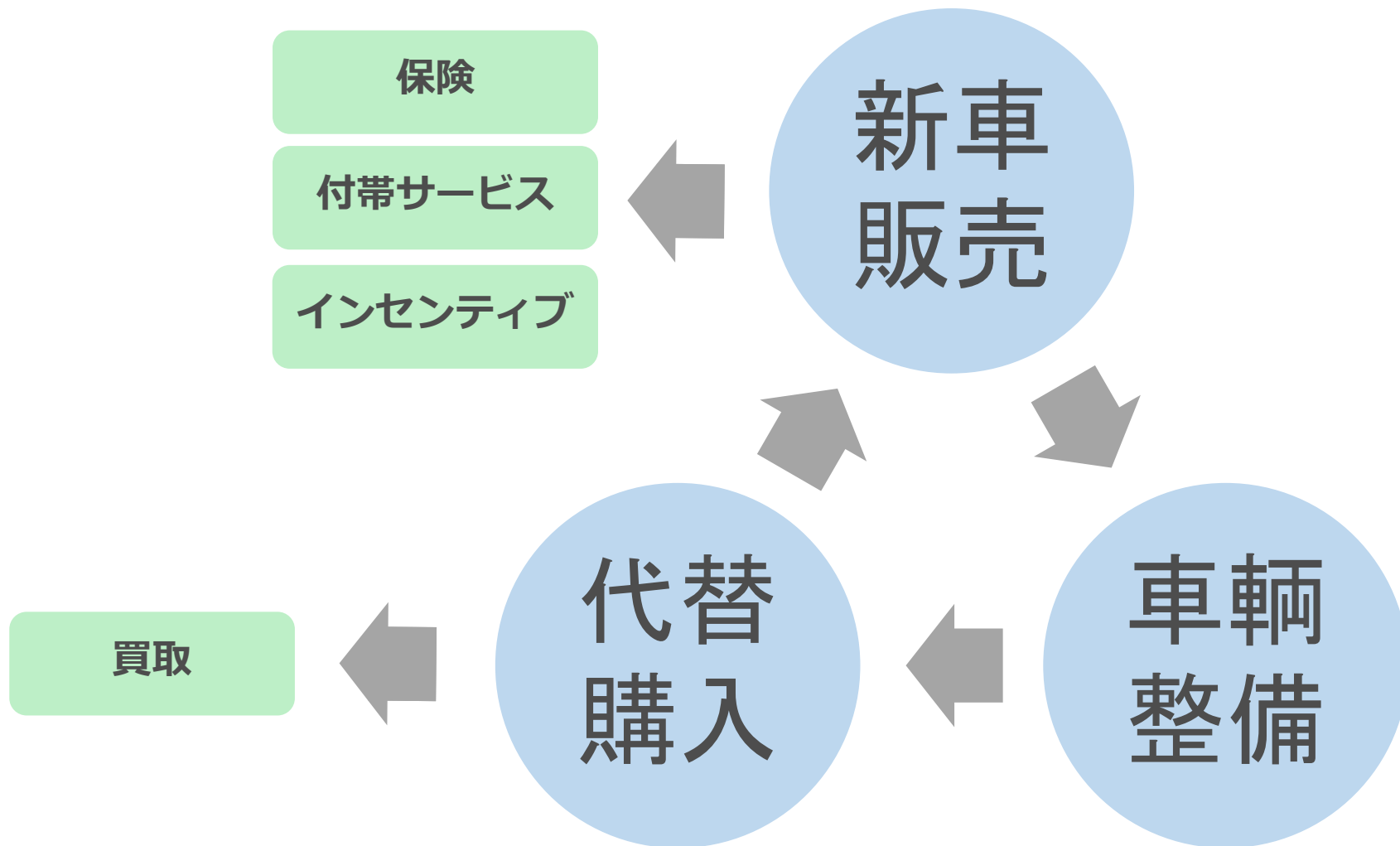
- 商圏の拡大
- 既存エリアの補完
- 既存ブランドの業容拡大

来場顧客、CS向上によるリピーターの増加

収益の向上



- 中古車はネットによる全国販売が可能のため、売り切りの可能性が有
- 新車はテリトリー内の販売が多いため、その後の**継続的な関係を構築**



2019年6月期

JEEP



Wrangler

Alfa Romeo
FIAT
ABARTH



Alfa Romeo STELVIO

BMW



X4



3 Series Sedan

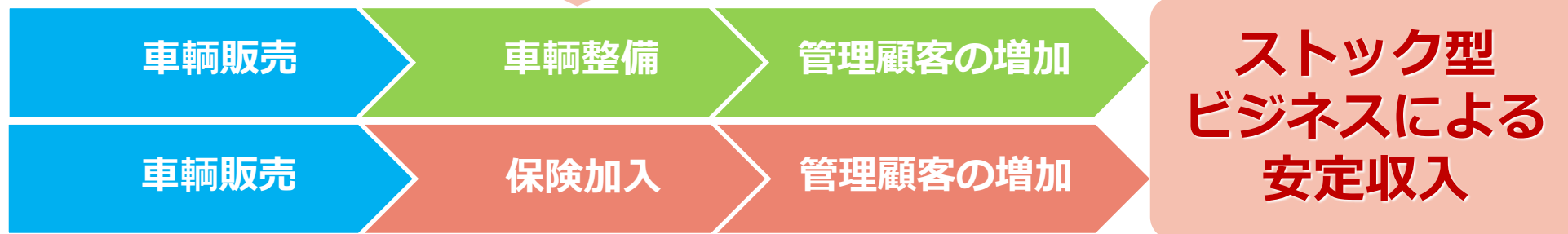
VOLVO



V60

車輻整備、その他事業はストック型のビジネスモデル

メンテナンスパック等による入庫の確保

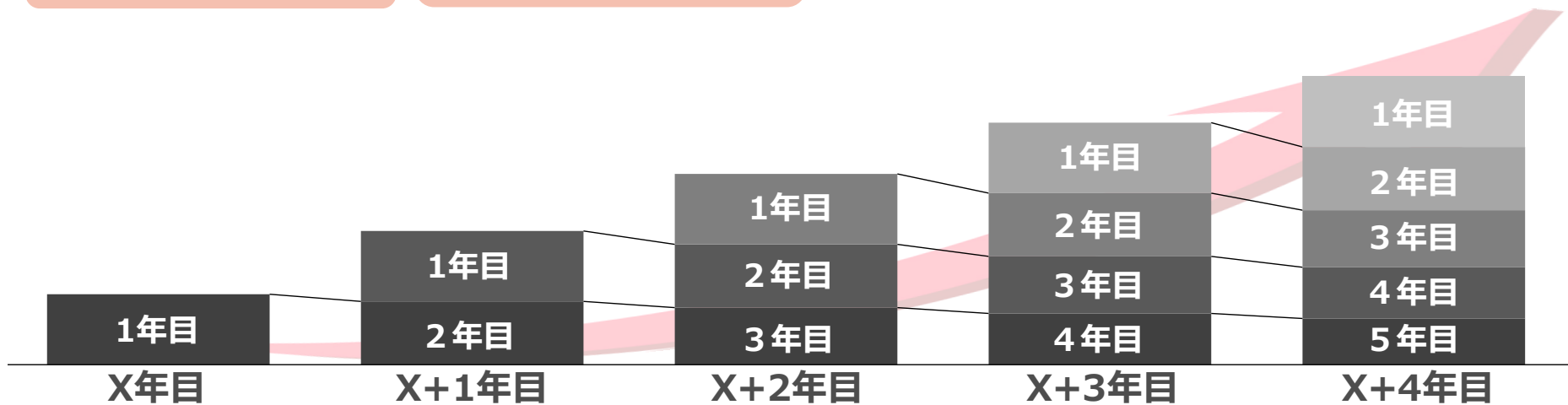


販売台数が多いため、
① 車輻整備による収益が多い
② 手数料の好条件

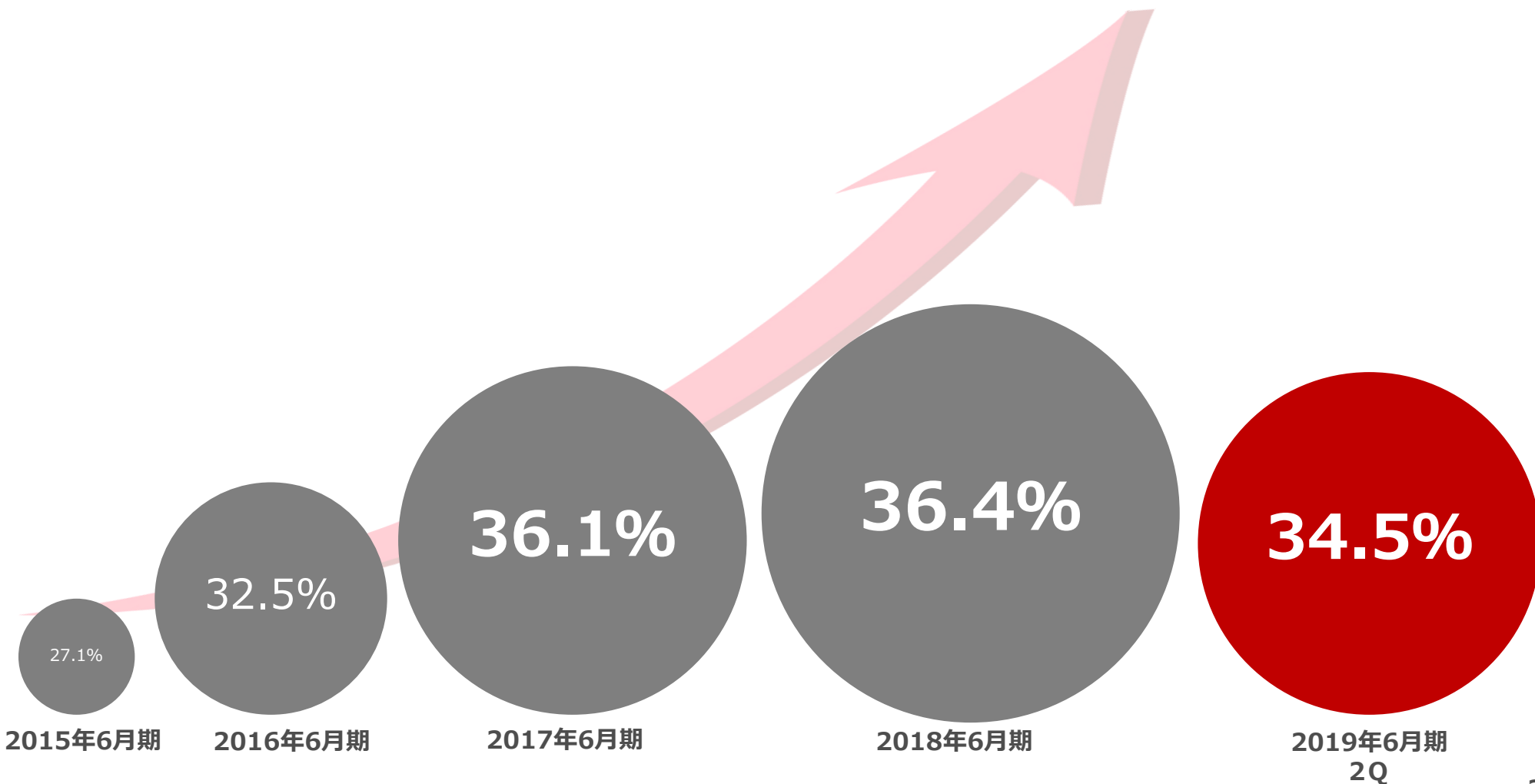
業界平均より高い加入率



高い継続率



新規任意保険付保率は前年比1.9ポイントダウンも
 手数料収入は前年同期比12百万円の増加



連結業績

連結業績

売上高：13,677百万円（前年同期比9.7%増）

営業利益：565百万円（前年同期比14.3%減）

売上高増加要因

- JEEP、MINI、VOLVOの新車販売が堅調に推移
- VOLVOの中古車販売が堅調に推移
- ジャガー・ランドローバー、ポルシェ取扱い開始による純増
- スtock型ビジネスである車輛整備、その他売上が堅調に推移
- 同期比過去最高の売上高を記録

営業利益減少要因

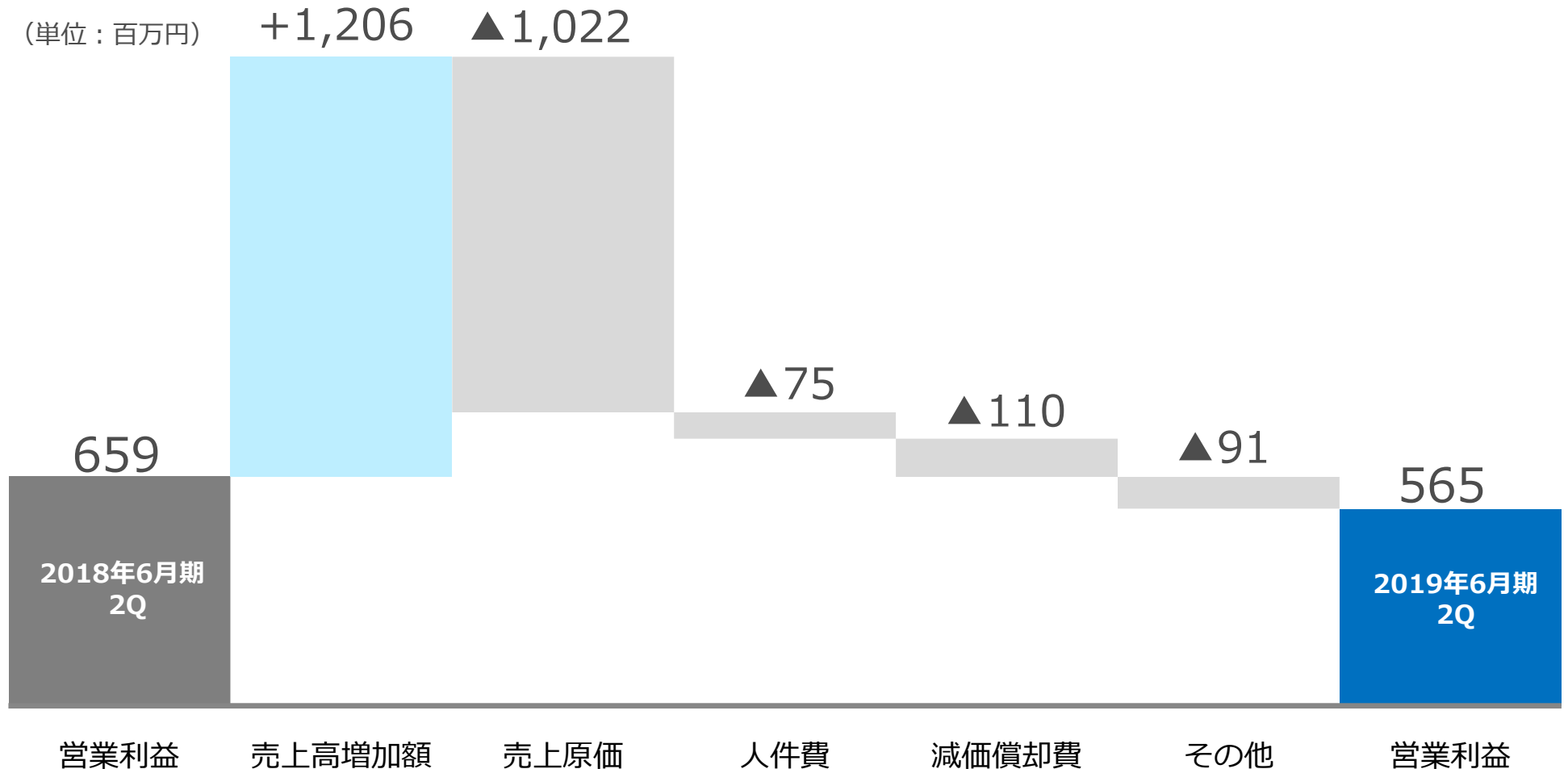
- 店舗設備等の新規取得及びデモカー保有台数増加に伴う減価償却費の増加
- 既存店体制強化及び新ブランド取扱い開始、新規オープン増加による人件費の増加
- 第3四半期以降に新規オープンまたは移転による店舗設備等取得に伴う諸費用の発生

(単位：百万円)	2018年度 2Q	2019年度 2Q	増減額	増減率
売上高	12,470	13,677	+1,206	+9.7%
営業利益	659	565	▲94	▲14.3%
営業利益率	5.3%	4.1%	▲1.2Pt	-
経常利益	656	559	▲96	▲14.7%
経常利益率	5.3%	4.1%	▲1.2Pt	-
当期純利益	408	336	▲71	▲17.6%
当期純利益率	3.3%	2.5%	▲0.8Pt	-

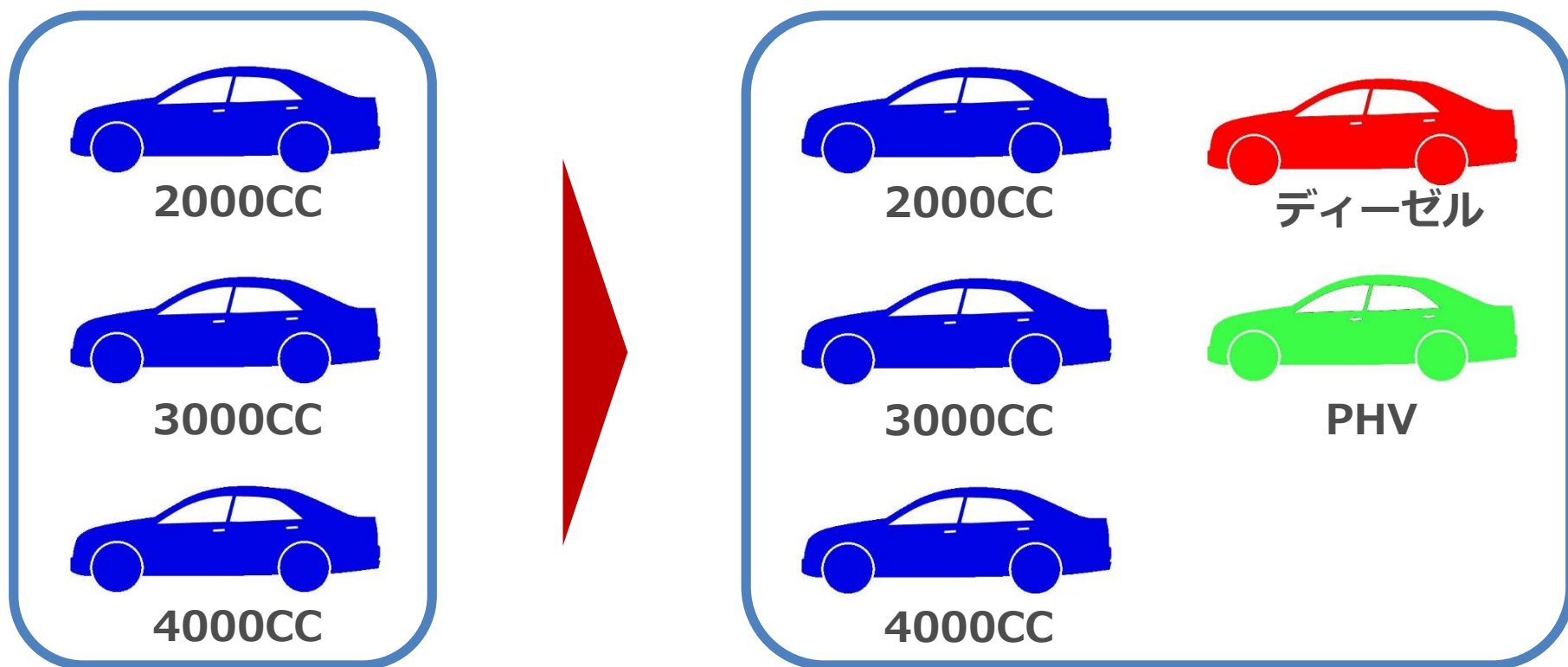
営業利益の推移（増減分析）

- 売上高は新車、中古車を中心に各品目において前年同期比で増加
- 新規オープン等に伴うデモカー増加及び店舗設備等取得により減価償却費が増加
- ジャガー・ランドローバー及びポルシェ取扱い開始等に伴う諸費用増加

(単位：百万円)



エンジンの多様化に伴い、デモカーの数は増加傾向



連結貸借対照表（資産）

(単位：百万円)	2018年度	2019年度 2Q	増減額	増減率
流動資産	7,212	7,728	+516	+7.2%
現預金	1,463	1,109	▲354	▲24.2%
売掛金	148	129	▲19	▲12.8%
商品	4,703	5,425	+721	+15.3%
固定資産	4,100	5,362	+1,262	+30.8%
有形固定資産	3,121	4,200	+1,079	+34.6%
無形固定資産	390	473	+82	+21.1%
総資産	11,312	13,091	+1,779	+15.7%
総資産経常利益率	12.1%	4.6%	▲7.5Pt	-

連結貸借対照表（負債・純資産）

(単位：百万円)	2018年度	2019年度 2Q	増減額	増減率
流動負債	5,215	6,852	+1,636	+31.4%
買掛金	2,143	2,811	+667	+31.1%
短期借入金	900	1,700	+800	+88.9%
1年内返済予定の長期買入金	539	434	▲104	▲19.4%
固定負債	1,302	1,175	▲127	▲9.8%
長期借入金	1,113	911	▲201	▲18.1%
資産除去債務	146	208	+62	+42.4%
純資産	4,793	5,064	+270	+5.7%
負債純資産合計	11,312	13,091	+1,779	+15.7%
自己資本比率	42.4%	38.7%	▲3.7Pt	-
自己資本利益率	18.2%	6.8%	▲11.4Pt	-

(単位：百万円)	2018年度 2Q	2019年度 2Q	増減額	主な項目	2018年度 2Q	2019年度 2Q
営業 C F	33	▲33	▲67	税金等調整前当期純利益 たな卸資産の増減額 仕入債務の増減額	647 ▲494 ▲56	557 ▲1,254 661
投資 C F	▲171	▲747	▲575	有形固定資産の取得による支出 事業譲受による支出 敷金及び保証金の差入による支出	▲163 - ▲1	▲529 ▲160 ▲80
財務 C F	▲169	425	595	短期借入金の純増減額 長期借入金の返済による支出 配当金の支払額	100 ▲207 ▲87	800 ▲306 ▲76
現金及び 現金同等物 増減	▲307	▲354	▲47			
現金及び 現金同等物 残高	1,108	1,109	1			

たな卸資産の増加：1,254百万円

- ポルシェの取扱い開始により2拠点分の新車在庫増加
- MINIがブレグジットにより4月から一時的に生産停止となるため在庫を先取り
- 一部ブランドで新車販売に注力した結果、中古車の在庫回転率が悪化
- 12月に下取、買取台数が例年より多かったため、中古車在庫が増加



今後の対応

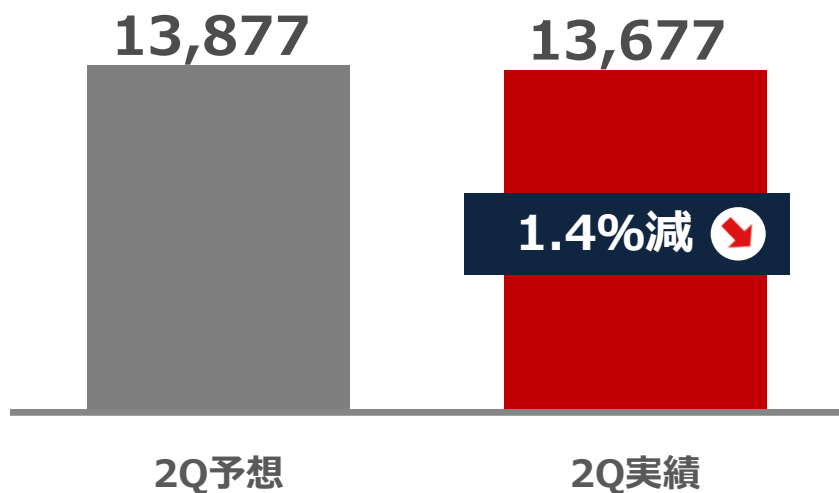
- 新車在庫については、いずれも一時的な要因のため、今後、適正在庫へ
- 中古車は、更なる在庫回転率を意識した販売、管理に注力し、適正在庫へ

(単位：百万円)	2019年度 2Q予想	2019年度 2Q実績	増減額	増減率
売上高	13,877	13,677	▲200	▲1.4%
営業利益	594	565	▲29	▲4.9%
営業利益率	4.3%	4.1%	▲0.2Pt	-
経常利益	587	559	▲27	▲4.7%
経常利益率	4.2%	4.1%	▲0.1Pt	-
当期純利益	374	336	▲37	▲10.1%
当期純利益率	2.7%	2.5%	▲0.2	-

第2四半期（累計）業績予想比

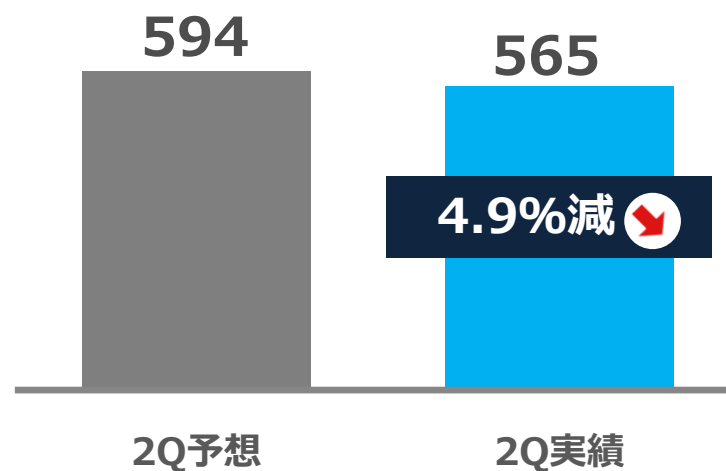
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



売上高減少要因

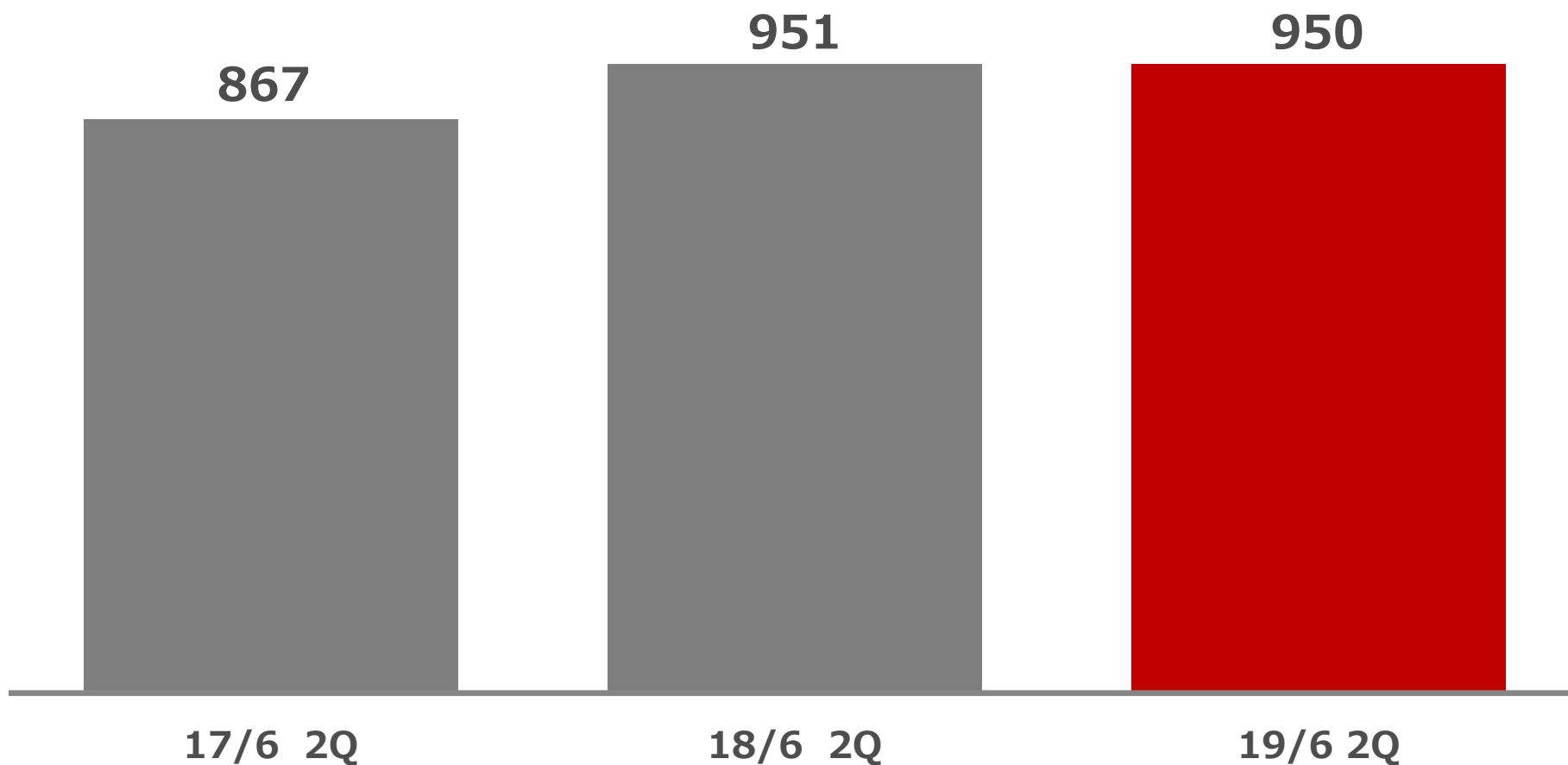
- ジャガー・ランドローバー、ポルシェ及びMINIの新車販売が堅調に推移。管理顧客の増加に伴い、車輛整備及び保険販売手数料収入が増加
- 一方、一部ブランドにおいて、メーカーからのデリバリー開始時期の遅れ及び在庫引き当てが不足したことによる納車遅れが発生し、計画より減少

営業利益減少要因

- 車輛の高性能化に伴うデモカーの高額化、保有デモカーの増加及びサービス代車入れ替え等により減価償却費が増加
- 新規オープン等により採用費及び販売促進費が増加

EBITDAは前年同期比で1百万円の減少

(単位：百万円)



通期連結業績予想

連結業績予想

売上高：29,510百万円（前期比14.5%増）

営業利益：1,344百万円（前期比6.6%増）

- ニューモデルを中心に、引き続き新車販売に注力
- ストック型ビジネスの着実な積み上げ
- アルファ ロメオ大田店、ジャガー・ランドローバー湘南の通年寄与
- JEEP目黒、ポルシェセンター郡山オープンによる純増

(単位：百万円)	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	増減額	増減率
売上高	25,770	29,510	+3,740	+14.5%
営業利益	1,261	1,344	+82	+6.6%
営業利益率	4.9%	4.6%	▲0.3Pt	-
経常利益	1,255	1,331	+76	+6.1%
経常利益率	4.9%	4.5%	▲0.4Pt	-
当期純利益	815	850	+35	+4.3%
当期純利益率	3.2%	2.9%	▲0.3Pt	-

通期業績予想に対する第2四半期進捗率

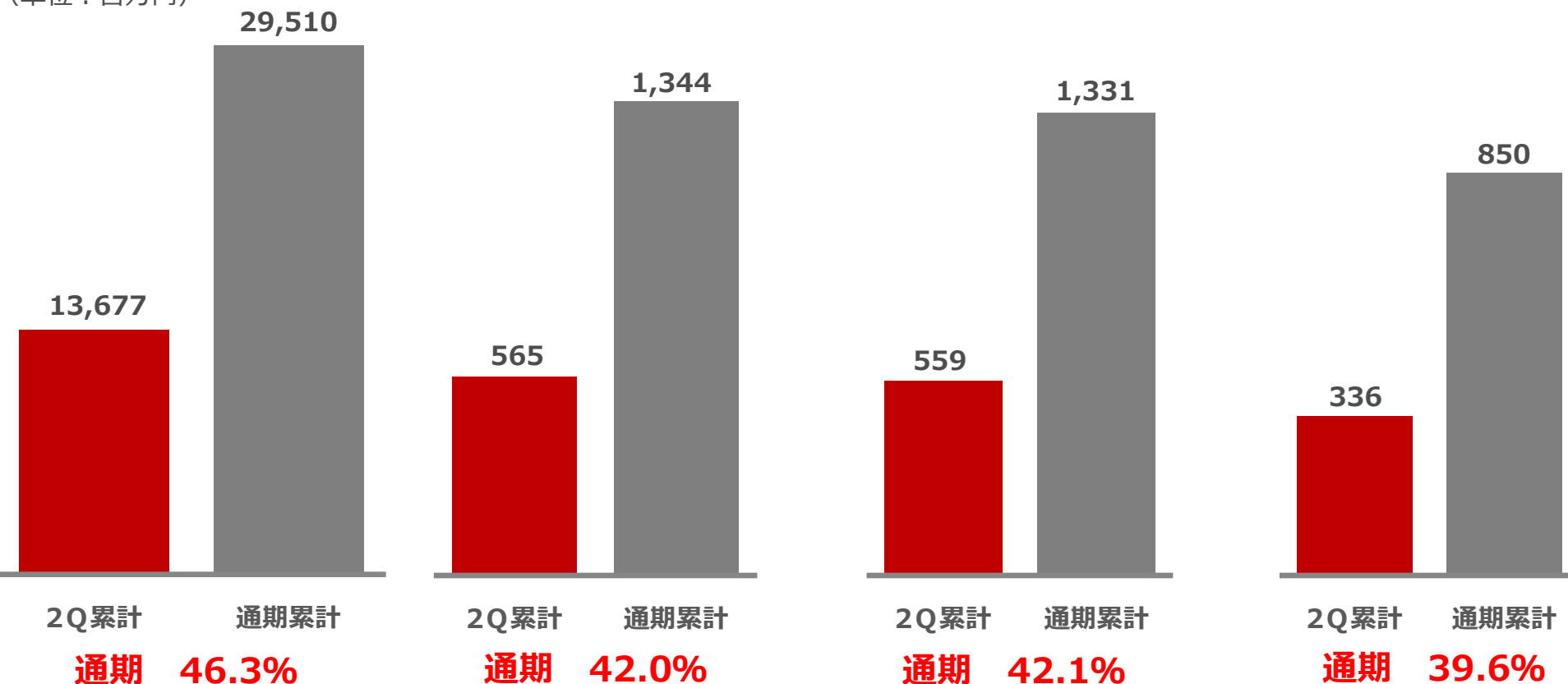
売上高

営業利益

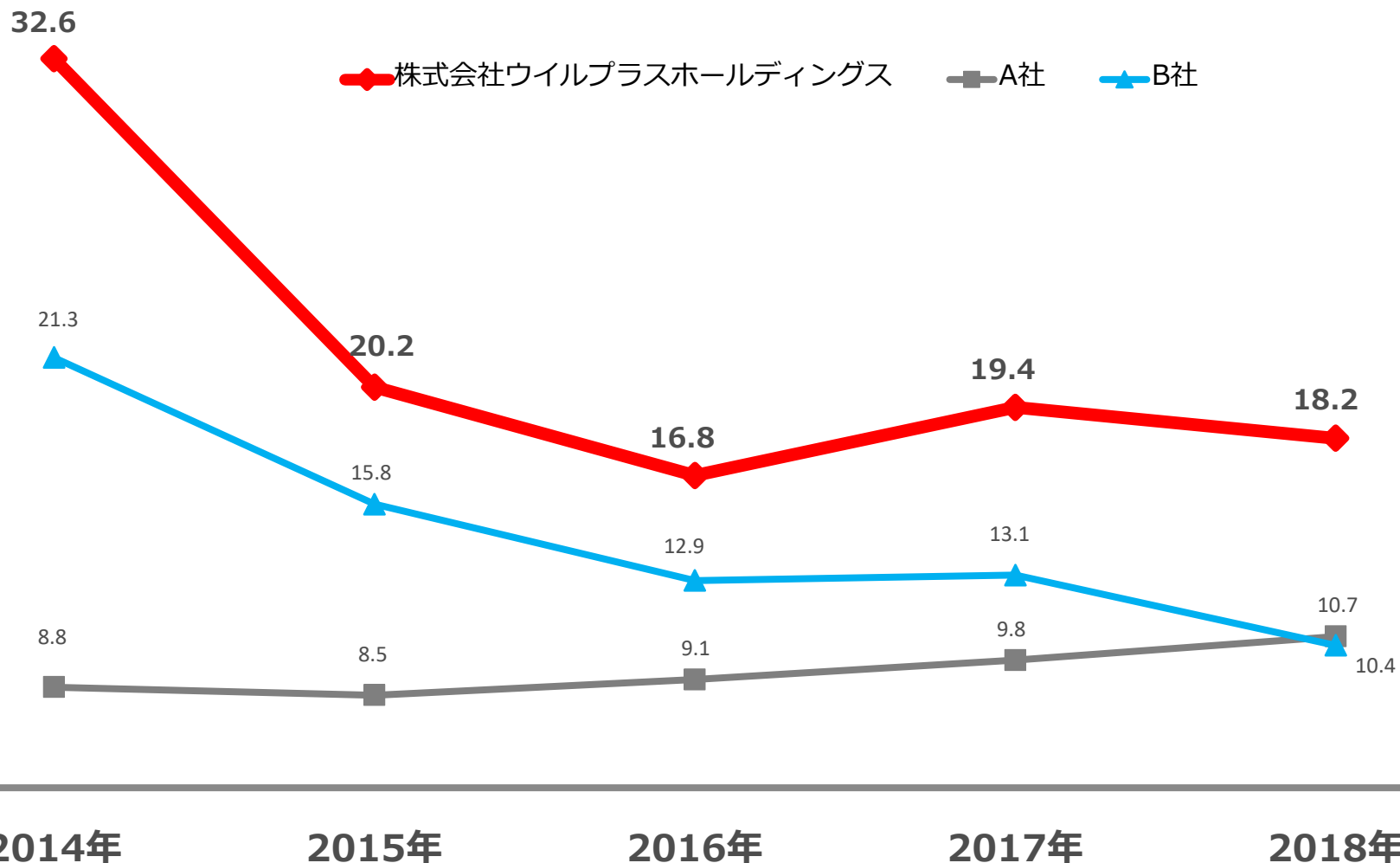
経常利益

当期純利益

(単位：百万円)



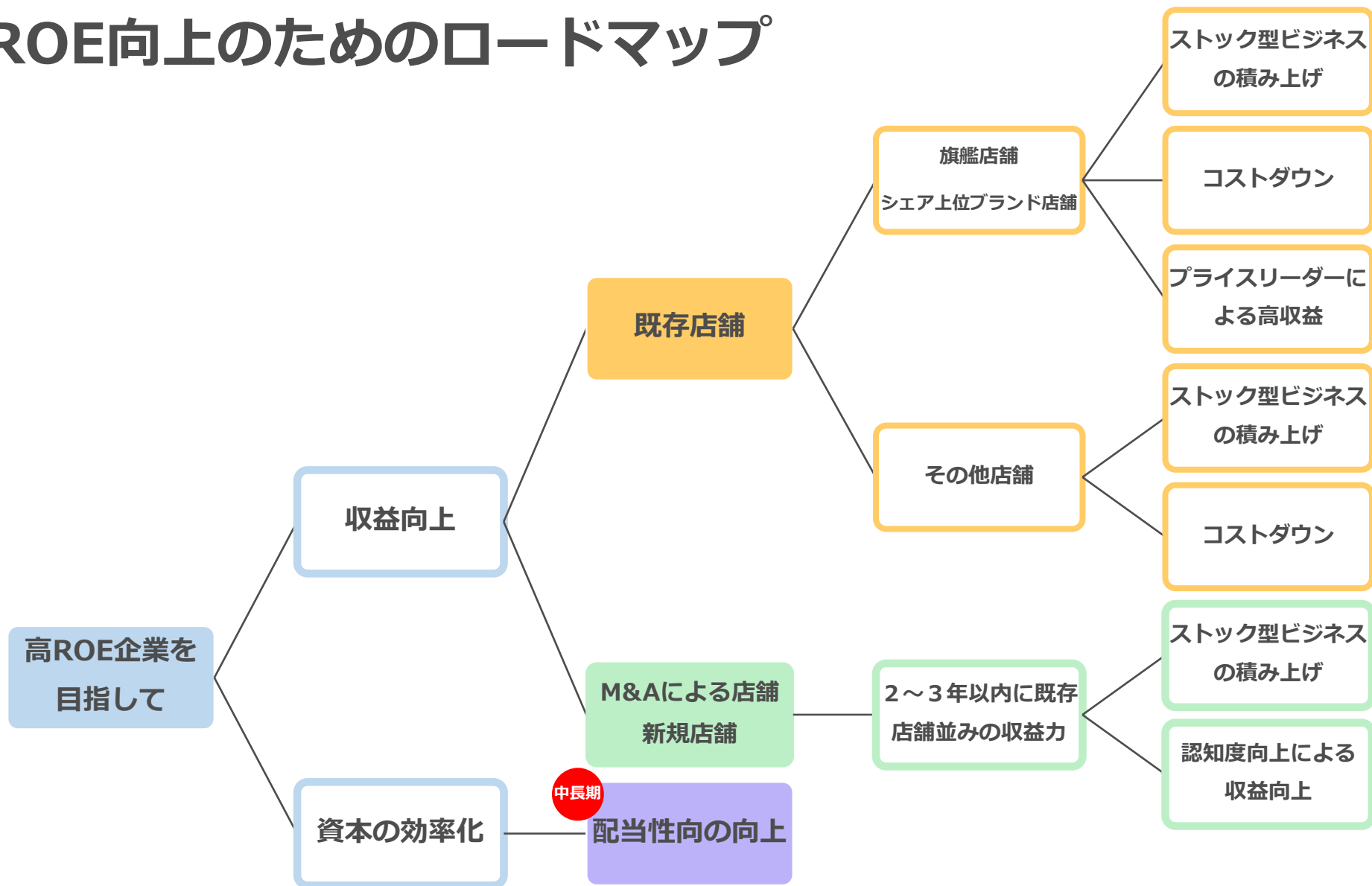
同業他社と比較し高水準を維持



出所：各社決算資料より、当社作成

注：決算期は当社が6月期、A社及びB社が3月期

ROE向上のためのロードマップ



株主還元

配当性向15%程度を目安に安定配当を継続 2019年6月期年間配当は60銭増配の13円80銭を予定

(1株当たり)	2018年6月期	2019年6月期
中間配当	5円00銭	5円00銭
期末配当	8円20銭	8円80銭
年間配当	13円20銭	13円80銭

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的

	保有株式数*	基準日	優待内容
株主優待	100株	6月末日	QUOカード 1,000円分

*基準日の当社株主名簿に記載または記録された1単位(100株)以上の株式を保有されている株主様を対象

未来に+ α の喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に変えていく挑戦を続けます

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス 管理部企画課

E-mail : ir-info@willplus.co.jp

電話番号 : 03-5730-0589 (土日祝除く10時00分~17時00分)

URL : <http://www.willplus.co.jp>